

2019年11月14日

各位

会社名 日本フォームサービス株式会社  
 代表者の役職名 取締役社長 齋藤 太 誉  
 (JASDAQコード番号 7869)  
 問い合わせ先 取締役 土肥 健一  
 TEL 03-3636-0011

### 2019年9月期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2019年6月26日付「特別損失の計上及び第2四半期累計期間の業績予想と実績の差異並びに通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました2019年9月期(2018年10月1日~2019年9月30日)の業績予想数値と、本日公表の実績数値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2019年9月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2018年10月1日~2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,460	56	66	△84	△210.93
今回修正予想(B)	3,129	124	81	△45	△114.58
増減額(B-A)	△330	68	15	38	
増減率(%)	△9.6	121.9	23.5	—	
(ご参考)前期同期実績 (平成29年9月期)	2,936	△74	6	15	39.02

#### 2. 2019年9月期通期個別業績予想数値と実績値との差異(2018年10月1日~2019年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	3,196	47	△99	△249.60
今回修正予想(B)	3,063	26	△73	△185.10
増減額(B-A)	△132	△20	25	
増減率(%)	△4.1	△44.0	—	
(ご参考)前期同期実績 (平成29年9月期)	2,564	△5	△25	△62.83

当社は、平成30年4月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

#### 3. 修正の理由

当社において不適切な会計処理が行われた疑いについて、第三者調査委員会の調査により、不適切な会計処理の事実が明らかとなり、特設注意市場銘柄に指定されました。過年度決算訂正により過去の連結会計年度において多岐にわたり多額の修正を行っております。

売上高につきましては、介護関連事業においては、売上高が計画通りに推移を致しましたが、函物及び機械設備関連事業において、公共施設や商業施設案件による工期遅延及び延期により前回予想に比較して売上高が予想よりも下回る結果になり、よって全体の売上高が減少いたしました。

営業利益につきましては、介護関連事業においては、利益確保の為にコスト削減等を進めていたもの

の退職者増加に伴い、新規雇用を行った影響により計画よりも下回りました。函物及び機械設備関連事業においては、生産ラインの見直しによる製造の標準化を図り、原材料の単価見直しや生産性の向上により原価低減を進めた結果、営業利益及び経常利益については当初予定より上回る予定であり、結果全体として営業利益及び経常利益ともに予定よりも増加いたしました。

親会社株主に帰属する当期純損失は、過年度修正に係る関連費用2億2百万円を特別損失に計上しております。一方、役員退任に伴う積立金1億円を一連の責任を重く受留め、不支給とすることを取締役会において確定したため、特別利益に計上しております。その結果、当初予定より損失額は減少したものの、当期純損失となりました。

こうした結果、当連結会計期間における連結売上高は対計画比9.6%減少の31億2千9百万円(前回予想比3億3千万円減)、連結営業利益は対計画比7千3百万円改善の1億2千9百万円、連結経常利益は対計画比1千5百万円改善の8千1百万円、親会社株主に帰属する当期純損失は、対計画比1千9百万円改善の4千5百万円となります。

個別業績に関しましても同様の理由により、上記の結果となりました。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合がございます。

以上